

## 「全鍍連」 2023年 12月号 いきいき地域

全鍍連情報・国際委員 山岡 伸行 (株)大和精鍍 代表取締役)

### 「ニイガタスポーツ事情」



「杉の木と男の子は育たない」この地にはこんな言葉があります。世代によっては聞いたことがあるかも知れませんが、我々世代なら知っている人も少なくないでしょう。これは冬が厳しく、杉の成長は阻まれ、新潟では男の子、特に長男は根性に乏しいことを意味するそうです。長男を大事にするあまり母親や女兄弟がチャホヤしてだらしない男製造機となっていたようです。スポーツ選手でも然り、実績のある人物は少なかった感があります。しかし、どうでしょう。最近ではラグビー日本代表の笑わない男「稲垣啓太」、バスケットボール日本代表の主将「富樫勇樹」、ゴールドメダリストの「平野歩夢」など。結構やるじゃないって感じになってまいりました。そろそろ「男の子も育つ」になってきたようです。

因みに、稲垣選手は三男末っ子、富樫選手は姉妹に挟まれた長男、平野選手は三兄弟の次男。

今でこそこれですが、新潟のスポーツ（目にする機会が多い高校スポーツ）は後進県と言われても仕方がない実績しかありませんでした。もちろん単発で全国制覇なんて競技もありましたが、実績を上げてきたのはここ最近だと感じます。でも、例外もあります。所謂古豪校。私の地元の三条高校通称三高がバスケットインターハイで第5回大会優勝、第6回3位、第7回準優勝、第8回優勝、第16、17回優勝と結構凄いのです。室内スポーツ万歳！それ以外は「冬が、雪が、気温が」ずっとこれを私は言い訳にしてきました。新潟じゃ無理だよって。考え方が本当に昭和でした・・・

冬の条件が悪いのは新潟だけではなく、実際実績を上げているところもあるのに工夫や考え方が足らなかったのかもしれないね。室内競技では冬の環境がもっと厳しい他県でも輝かしい成績を上げている競技もあります。冬は関係ないので。そもそも新潟県全てが雪深い訳ではなく、新潟市内では積雪がある方が少ないのです。市内は道路に消雪パイプが設置されてないため、積雪になるとすぐパニックになり、他市ではその程度で？となります。

当然、寒いのは間違いないのですが。

最近では新潟県にも高校スポーツの強豪校が出てきています。またもやバスケットですが、開志国際高校と長岡帝京高校。こちらは高校トップレベルです。帝京はサッカーでも全国レベルと認識されております。続いてプロスポーツですが、文字数制限もありますのでまたこの次で。